

## アジア 8 地域・北海道観光の認知度、訪問意欲に関する アンケート調査

～アジアにおける「北海道」に対する認知度、訪問意欲は  
日本の観光地でトップレベル～

(株)日本政策投資銀行 北海道支店 企画調査課

### 【要 旨】

- 日本政策投資銀行は、2012年10月下旬、アジア8地域の海外旅行経験者を対象としたインターネットによるアンケート調査を実施した。※1
- 本レポートは、その調査結果から「北海道」及び道内の観光地（「札幌」、「函館」、「十勝」、「ニセコ」）に対する訪問経験、認知度、訪問意欲に関して取りまとめたものである。
- アジアにおける観光地としての「北海道」に対する認知度は、所謂ゴールデンルートの観光地と並び日本でトップレベルであり、訪問意欲に関してもトップレベルである。※2
- 道内の観光地別にみると、「札幌」は全国でも上位の認知度、訪問意欲を得ている。「函館」はそれに続く水準で特に台湾、香港では認知度、訪問意欲が高い。また、香港、台湾では「十勝」の認知度、訪問意欲が比較的高く、中国では「ニセコ」の認知度、訪問意欲が比較的高いといった特徴がみられた。
- 日本への訪問回数別にみると、訪日回数が多いグループほど各観光地に対する認知度、訪問意欲が概ね上昇する傾向がみられた。
- 本調査からも、北海道は観光地としてアジア地域でトップレベルのブランド力を有することが確認できる。こうしたブランド力を地域全体としてインバウンド観光客誘致に有効に活用するとともに、「北海道」ブランドで獲得した来訪者に対して道内各地域の独自の魅力を伝え認知度と訪問意欲を高めることにより、道内各地域への「北海道リピーター」を創出する取り組みが重要と考えられる。

※1 調査全体の回答状況は、当行2012年12月5日公表資料「アジア8地域・訪日外国人旅行者の意向調査～『日本旅行の人気はトップクラス』、『リピーターが日本各地を選んで訪れる時代へ』」をご参照下さい。

※2 「ゴールデンルート」とは、東京～大阪間を周遊する定番観光ルート。

## 1. 調査要領

- ① 調査方法：インターネットによる調査
- ② 実施時期：2012年10月18日～2012年10月30日
- ③ 調査対象地域：北京、上海、台湾、香港、韓国、マレーシア、タイ、インドネシア
- ④ 調査対象者：20～59歳の男女、かつ、海外旅行経験者
- ⑤ 有効回答数：上記各地域毎に500人

※タイ及びマレーシアについては、訪日2回以上の回答数が少なかったため追加調査を実施しており、回答数が多くなっている(タイ：+25人、マレーシア：+27人)。

### 有効回答の男女別内訳

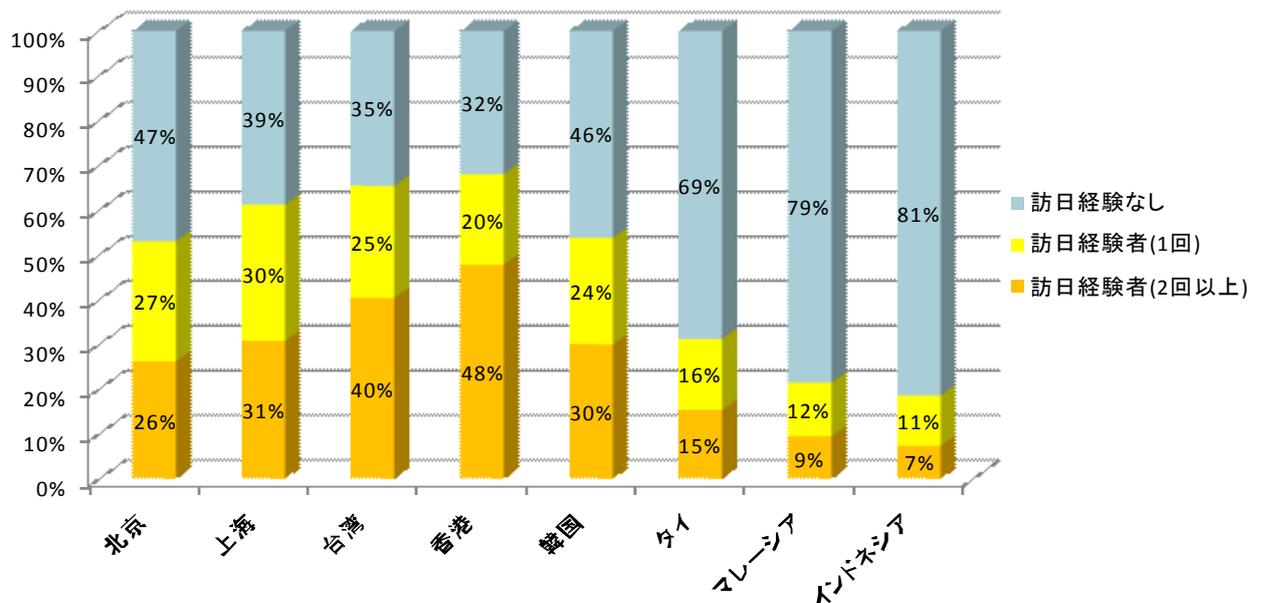
	北京	上海	台湾	香港	韓国	マレーシア	タイ	インドネシア
男性	229	236	247	229	266	278	275	233
女性	271	264	253	271	234	249	250	267
回答数	500	500	500	500	500	527	525	500

## 2. 回答者の訪日経験

東アジア地域では訪日経験者の比率が高く、香港、台湾、上海で60%以上、韓国、北京で50%台前半。特に、台湾、香港では2回以上の訪日経験者の比率が最も高くなっている。

東南アジア地域では訪日経験者比率が相対的に低く、タイで約30%、マレーシア及びインドネシアで20%前後。

訪日経験に関する回答状況（構成比）



### 3. <訪日経験者>訪問した観光地

直近の日本旅行で「北海道」を訪問した比率は、ほとんどの調査対象地域でゴールデンルート(東京～大阪を周遊する定番観光ルート)に次ぐ高い水準となっている。特に北京、上海で約40%と高く、台湾、香港で約25%、マレーシア、タイ、インドネシアでは20%前後でゴールデンルートの訪問率との乖離がやや大きい。

韓国に関しては、「九州」が北海道地域よりも訪問率が高くなっている。また、韓国では「札幌」の回答率が「北海道」を上回っており、地域名よりも都市名の認知度が高いことが伺われる。

#### 日本旅行における訪問地(複数回答)

※複数回訪日経験がある場合は、直近の旅行について回答

	北京		上海		台湾		香港		韓国		タイ		マレーシア		インドネシア	
サンプル数	265		306		327		340		269		164		113		93	
北海道	38.1%	④	37.9%	⑤	24.8%	④	25.6%	⑤	5.9%	⑮	20.7%	⑥	21.2%	⑤	18.3%	⑦
札幌	11.3%	⑩	11.8%	⑪	15.3%	⑥	22.1%	⑥	11.9%	⑨	8.5%	⑭	7.1%	⑮	12.9%	⑩
函館	6.8%	⑲	4.6%		10.7%	⑫	10.3%	⑮	5.6%	⑰	4.3%		5.3%	⑰	1.1%	
十勝	1.5%		2.9%		3.1%		5.0%		1.1%		1.2%		4.4%	⑳	0.0%	
ニセコ	5.3%		5.2%		1.2%		1.8%		0.7%		1.2%		0.9%		0.0%	

(参考)

東京	65.7%	①	53.3%	①	38.5%	①	60.3%	①	44.6%	①	66.5%	①	67.3%	①	74.2%	①
富士山	45.7%	②	41.2%	③	10.1%	⑭	29.1%	③	7.8%	⑫	42.7%	②	43.4%	③	35.5%	④
京都	37.0%	⑤	40.2%	④	30.0%	②	26.2%	④	27.5%	③	32.9%	④	35.4%	④	45.2%	②
大阪	42.6%	③	44.4%	②	29.7%	③	40.9%	②	32.7%	②	42.1%	③	44.2%	②	40.9%	③
九州	9.8%	⑭	11.1%	⑫	11.3%	⑪	20.3%	⑦	15.2%	⑤	3.7%		8.8%	⑬	7.5%	⑰
沖縄	15.8%	⑧	16.0%	⑧	13.8%	⑧	13.8%	⑫	5.9%	⑮	5.5%	⑱	11.5%	⑨	12.9%	⑩

※下記44カ所の選択肢からの複数回答。丸数字は、上位20位以内の場合に表示。後の図表においても同様。

東京、富士山、箱根、日光、松本、北海道、札幌、函館、十勝、ニセコ、東北、青森、仙台、松島、新潟、北陸、金沢、立山／黒部、名古屋、伊勢、飛騨／高山、関西、京都、奈良、大阪、神戸、岡山、広島、山陰、鳥取、島根、四国、高松、高知、松山／道後、九州、福岡／博多、長崎、別府／湯布院、阿蘇、宮崎、鹿児島、沖縄

#### 4. <全員>観光地の認知度

北海道の認知度は、いずれの調査対象地域でも非常に高い。特に台湾ではトップであり、上海、香港、北京、タイ、マレーシアではゴールデンルートの観光地と同等以上の水準となっている。

道内の各観光地の認知度は、札幌の認知度はいずれの調査対象地域でも上位にある。特に、韓国では「札幌」の認知度が「北海道」を上回っている。また、台湾、香港では、函館の認知度も上位に来ているほか、十勝の認知度が比較的高い。北京、上海では函館とニセコの認知度が同程度で比較的高い。

知っている日本の観光地（複数回答）

	北京		上海		台湾		香港		韓国		タイ		マレーシア		インドネシア	
サンプル数	500		500		500		500		500		525		527		500	
北海道	72.4%	③	76.0%	②	85.8%	①	76.0%	③	54.2%	⑦	63.0%	④	60.5%	④	38.8%	⑧
札幌	50.6%	⑩	49.6%	⑪	75.4%	⑧	68.6%	⑤	64.4%	⑤	39.8%	⑩	23.3%	⑫	26.8%	⑪
函館	20.6%		18.6%		54.0%	⑲	40.2%	⑳	15.0%		7.8%		5.5%		3.8%	
十勝	12.8%		12.4%		17.4%		28.6%		3.4%		3.6%		4.4%		2.2%	
ニセコ	18.4%		17.4%		4.8%		6.6%		3.6%		3.0%		2.7%		1.0%	

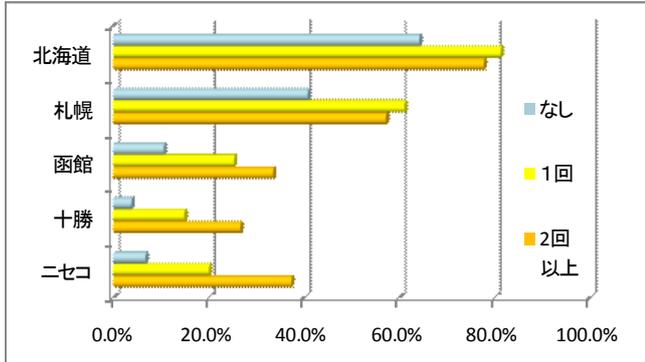
(参考)

東京	77.6%	②	75.4%	③	82.8%	②	83.0%	①	69.2%	①	75.6%	②	72.7%	②	70.0%	①
富士山	78.2%	①	80.0%	①	79.0%	④	76.2%	②	65.0%	④	77.1%	①	76.7%	①	66.6%	②
京都	66.0%	⑦	71.4%	⑤	79.0%	④	63.6%	⑩	66.8%	③	62.5%	⑤	48.8%	⑤	54.8%	④
大阪	68.6%	④	73.2%	④	79.6%	③	74.2%	④	67.2%	②	64.4%	③	63.4%	③	59.2%	③
九州	45.6%	⑭	47.6%	⑭	69.4%	⑩	64.8%	⑨	53.6%	⑨	30.7%	⑭	24.7%	⑪	14.6%	⑭
沖縄	62.0%	⑧	64.6%	⑧	78.6%	⑥	66.6%	⑦	50.8%	⑪	39.8%	⑪	38.5%	⑨	33.2%	⑩

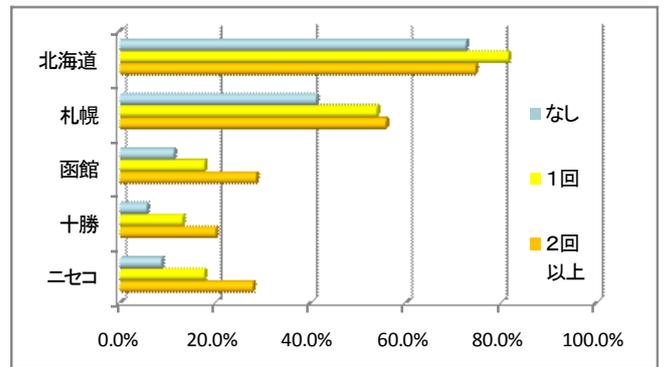
訪日回数別（訪日経験なし、訪日経験1回、訪日経験2回以上）で見ると、「北海道」の認知度は各区分で高い水準となっている。一方、道内各地域の認知度は、概ね訪日回数に応じて上昇する傾向にある。

訪日回数別の道内観光地認知度

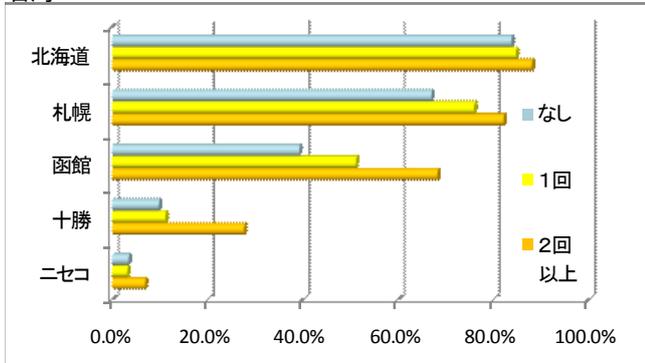
北京



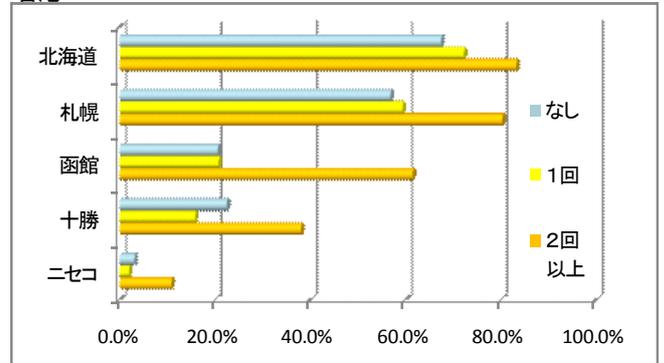
上海



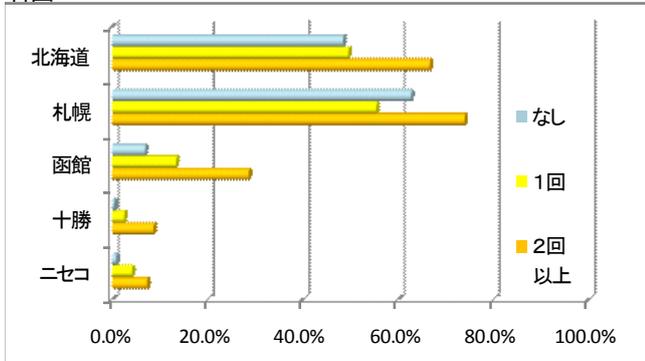
台湾



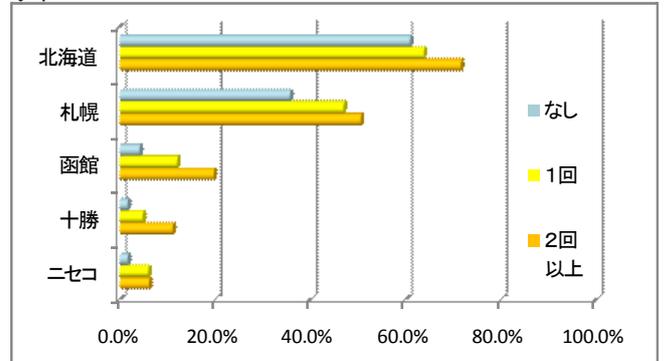
香港



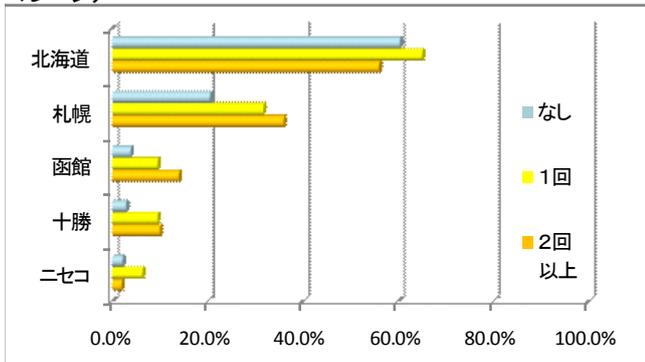
韓国



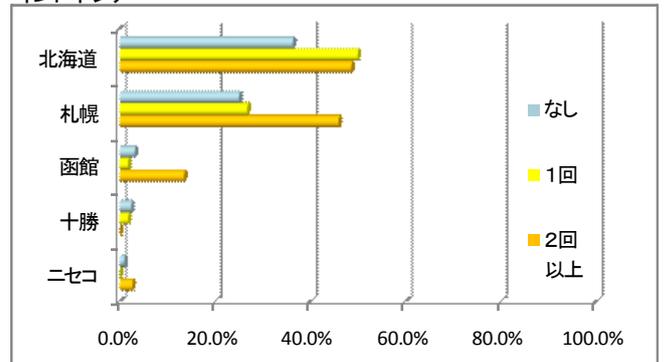
タイ



マレーシア



インドネシア



## 5. <全員>訪問意欲

「北海道」に対する訪問意欲は、認知度以上に順位が上昇する傾向がみられる。特に、台湾、香港で第1位、北京、上海で第2位、タイ、マレーシアで第3位、韓国では「札幌」が第1位、「北海道」が第4位となっており、各調査地域でトップレベルにある。「北海道」を知っている旅行者の訪問意欲は、他の日本の観光地に比較して高い傾向が伺われる。

知っている観光地のうち訪問したい観光地（複数回答）

	北京		上海		台湾		香港		韓国		タイ		マレーシア		インドネシア	
サンプル数	488		490		491		493		467		497		488		424	
北海道	52.9%	②	52.4%	②	65.0%	①	47.3%	①	28.7%	⑤	44.9%	③	47.5%	③	19.6%	⑦
札幌	23.0%	⑩	19.6%	⑩	39.3%	⑥	26.0%	⑥	37.3%	①	22.7%	⑥	9.8%	⑪	13.7%	⑪
函館	9.0%	⑳	5.7%		28.7%	⑩	14.0%	⑬	5.6%	⑳	2.4%		1.6%		0.7%	
十勝	2.7%		3.1%		7.3%		6.9%		1.1%		1.2%		1.4%		0.9%	
ニセコ	5.1%		6.7%		2.0%		1.2%		1.1%		0.4%		0.8%		0.5%	

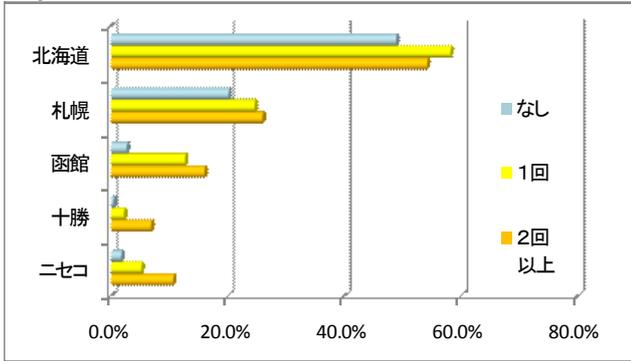
(参考)

東京	49.6%	③	44.7%	③	44.6%	⑤	36.5%	②	34.7%	③	55.7%	②	54.5%	②	61.1%	①
富士山	58.4%	①	56.5%	①	47.3%	③	31.6%	③	35.3%	②	61.6%	①	61.1%	①	57.5%	②
京都	43.0%	④	41.6%	④	47.7%	②	23.1%	⑦	31.5%	④	37.6%	⑤	27.7%	⑤	33.7%	④
大阪	36.5%	⑥	41.6%	④	45.6%	④	28.4%	④	28.5%	⑥	39.8%	④	36.3%	④	39.4%	③
九州	15.0%	⑬	15.7%	⑬	26.3%	⑫	19.9%	⑩	18.2%	⑦	8.9%	⑯	6.6%	⑫	4.7%	⑭
沖縄	30.1%	⑦	27.8%	⑦	36.5%	⑧	27.8%	⑤	17.1%	⑨	16.1%	⑨	16.8%	⑧	14.9%	⑨

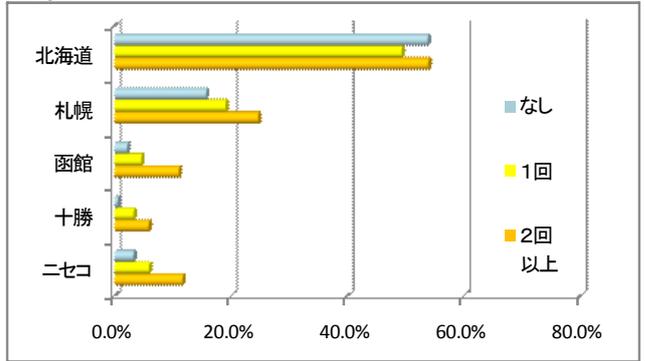
訪日回数別でみると、認知度と同様、北海道への訪問意欲は各区分で高い水準を維持している。また、道内各地域への訪問意欲についても、認知度と同様、概ね訪日回数に応じて上昇する傾向がみられる。

訪日回数別の道内観光地訪問意欲

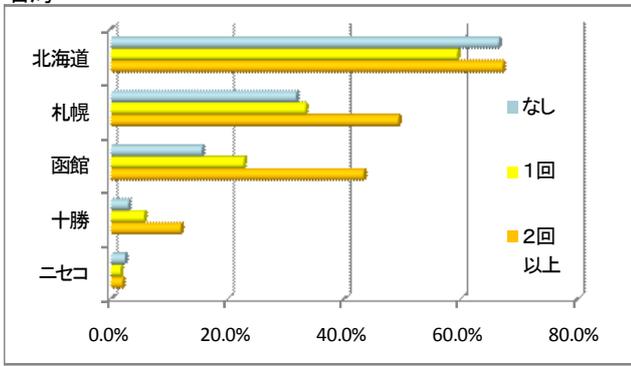
北京



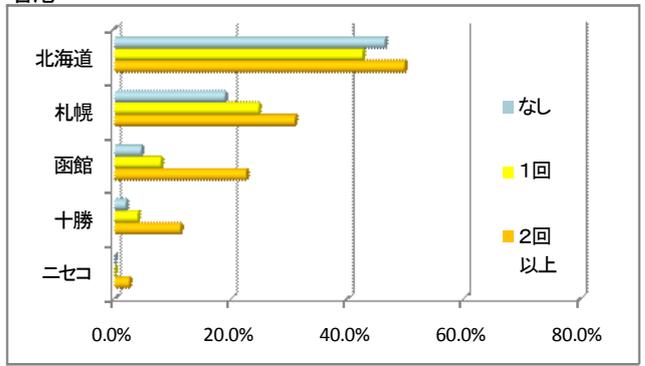
上海



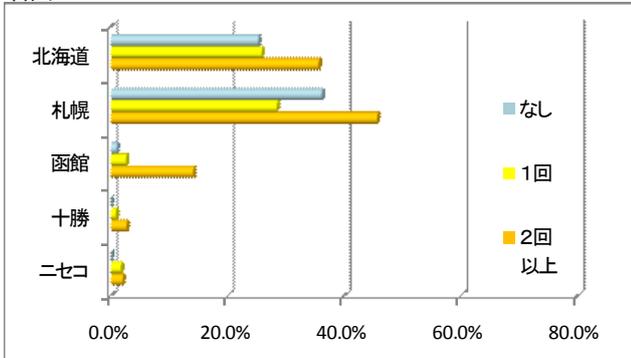
台湾



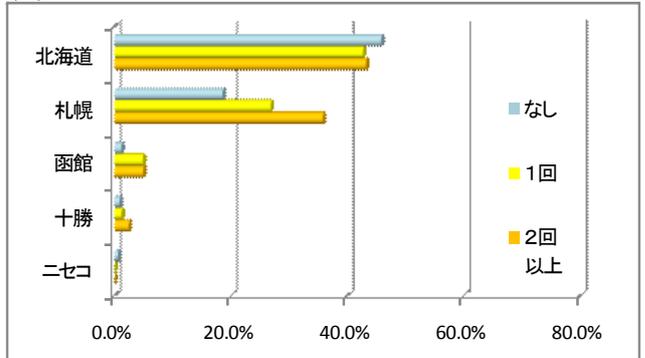
香港



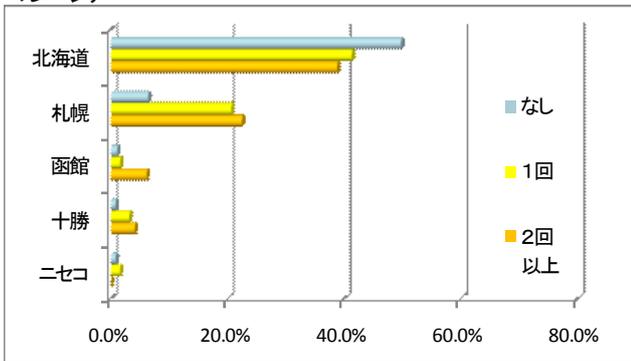
韓国



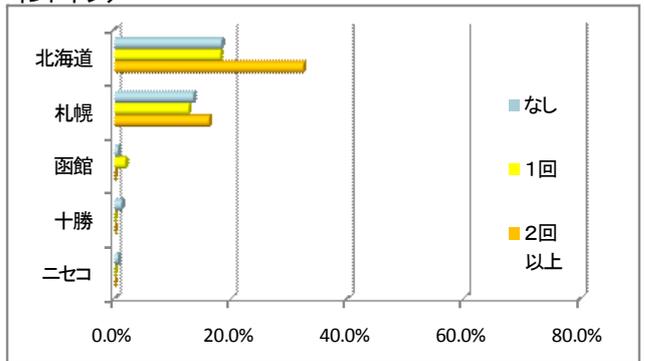
タイ



マレーシア



インドネシア



DBJ 北海道経済ミニレポート 2012/12/5 (No.11)

株式会社日本政策投資銀行 北海道支店 支店長 北村 潤一郎 担当:企画調査課

TEL 011-241-4117 E-Mail [hkinfo@dbj.jp](mailto:hkinfo@dbj.jp) <http://www.dbj.jp>

著作権(C)Development Bank of Japan Inc. 2012 当資料は、㈱日本政策投資銀行(DBJ)により作成されたものです。  
当資料に記載された内容について、特定の取引等を勧誘するものではなく、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。当資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願い致します。  
当行の承諾なしに、本資料(添付資料を含む)の全部または一部を引用または複製することを禁じます。